

令和3年度 年間授業計画

都立第一商業高等学校

教科・科目	商業・ビジネスアイデア	単位数	3単位	対象学年・組	2学年A・B・C・D・E・F組
教科書 使用教材	自校作成プリント	教科担任	小室善之 井原祐美 野崎明男 吉田葵 藍澤卓也		

1. 目標

ビジネスの見方・考え方を働かせ、ビジネスの創造や工夫に関する課題を設定し、その課題解決を図る学習を通して、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を身につける。

- 1 ビジネスの創造や工夫について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術。
- 2 ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠にも続いて創造的に課題解決する力。
- 3 ビジネスを創造・工夫する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度

2. 学習内容と学習上の留意点

学期	指導内容	具体的な指導目標	学習上の留意点	予定時数
1 学期	1 問題・課題を発見	フレームワークなどを活用した問題・課題を発見する技術を身につける。	フレームワークを学習することが目的とならないようにする。	36
	2 課題解決のためのアイデア	アイデアを広げ、それを評価・選択することで、ビジネスプランの基盤になるアイデアを磨く。	発想・収束・評価・選択を意識させる。	
	3 市場の分析	フレームワークなどを活用して、業界の動きなど必要な情報を収集し、体系的に整理する。	市場環境における情報を顧客・自社・競合といった多方面から収集する。	
2 学期	4 戦略の立案	問題解決のためのアイデアを、実践可能な状態へと具現化するための方法を身につける。	戦略の方向性、実現可能性、目標設定の流れを意識させる。	42
	5 他者に伝える・共有する	「問題・課題の発見」「アイデア」「市場の分析」「戦略の立案」などの情報を他者へ伝える技術を身につける。	プレゼンテーションの基本を押さえて、他者に正しく伝えることができるように指導する。	
	6 ビジネスプラン	これまでの学習をもとに、ビジネスプランを作成する。	1～5の学習事項を必要に応じて活用できるよう指導する。	
3 学期	7 プレゼンテーション	これまでの学習をもとに、ビジネスプランを作成し、プレゼンテーションを行う。	1～6の学習事項を必要に応じて活用できるよう指導する。	27

配当時間は一応の目安であり若干の増減はある。

3. 授業を受ける上での注意

※生徒が学習する上での学習方法について、具体的に箇条書きで記述する。

1. 他人の意見を「聴く」、自分の意見を「言う」
2. ペアやグループなどでの演習が中心となるため、当事者意識を持ち、積極的に取り組む。
3. 学習をより深いものにするために、日常生活の中で社会や企業の動向に目を向ける。

4. 評価の観点・方法

※評価の観点と方法についてわかりやすく具体的に記述する。

授業における演習での作成物、レポート、プリントなどの提出物や定期考査等をもとに総合的に評価する。